



1. 本市の自転車に関するニーズ

本市における自転車に関するニーズを把握するため、市民へのウェブアンケート調査及び関連団体へのヒアリング調査を実施しました。

実施して得た自転車に関するニーズを10項目に整理しました。

(1) 市民ウェブアンケート調査の概要

- ①実施方法：「しずおか電子申請サービス」を利用したウェブアンケートを実施
- ②調査時期：令和2年9月16日(水)から9月30日(水)
- ③回答数：1,269通
- ④周知方法：富士市ウェブサイトへの掲載及び公共施設へのチラシ(QRコード付き)を配布

(2) ヒアリング調査の概要

- ①実施方法：対象者との対面によるヒアリング調査を実施
- ②調査時期：令和2年9月から10月
- ③対象者数：富士市の自転車関連の12団体

図表 2-1 ウェブアンケート調査チラシ

No.	対象者
1	レバンテフジ静岡
2	ふじのくに east サイクリストクラブ
3	富士警察署 交通課
サイクルショップ	
4	サイクルセブン(伝法)
5	ミンズーバイク(比奈)
6	ユーキャン(入山瀬)
観光関係者	
7	(一社)富士山観光交流ビューロー
8	富士パークホテル
9	東横イン新富士駅南口
交通事業者	
10	富士急行静岡バス
11	タクシー協会
12	岳南電車

図表 2-2 ヒアリング対象者一覧



(3) 自転車に関するニーズの調査結果

1: 自転車競技

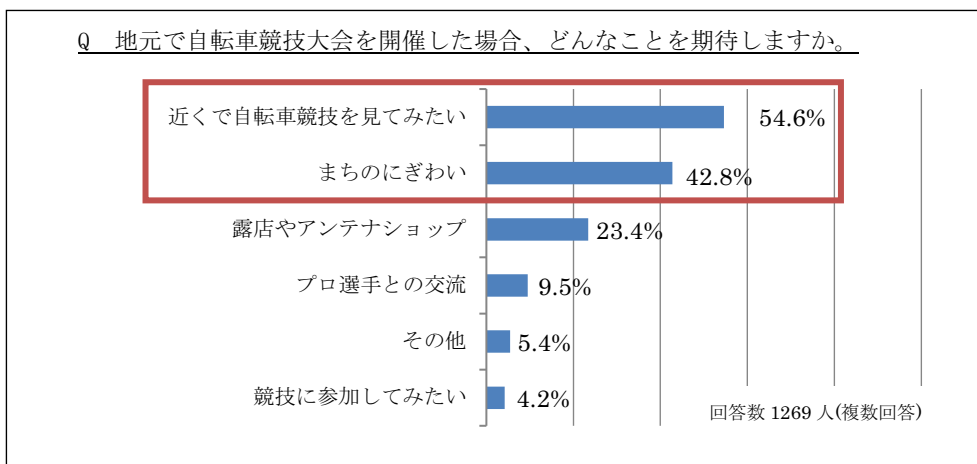
ニーズ 1-1: トップアスリートを間近で見られる自転車競技大会の開催によるまちの賑わいづくりが求められています。

【ヒアリング調査での意見】

- ・トップアスリートの自転車競技を間近で見てもらい、自転車競技のすばらしさを体感してもらいたい。
- ・自転車競技大会を開催することで、市民の自転車に関する関心が高まり、また、競技大会の観戦の楽しみ方を同時に伝えることで、より関心が高まる。
- ・市内には、様々な自転車競技を行うことができる資源があるため、自転車競技大会を開催することで、市内外から人を呼び込み、地域の活性につながる。

【アンケート調査結果】

▼ 自転車競技を「近くで自転車競技を見てみたい」と回答している人の割合が最も多いです。



ニーズ 1-2: 市民が参加できる自転車競技大会の開催が求められています。

【ヒアリング調査での意見】

- ・自転車競技を継続的なものにするためには、市民が参加できる、競技大会の開催が有効。
- ・トップアスリートの自転車競技大会と市民参加型の競技大会を同時に開催することで、魅力がある大会となる。

【コラム】

○ 他市で開催している自転車競技大会では、多くの来場者で賑わい、地域経済の活性化につながっています。

レース名 (大会名)	来場者数	参加選手数等
ツアー・オブ・ジャパン富士山ステージ	10,000 人	96 人 / 16 チーム
ツアー・オブ・ジャパン伊豆ステージ	21,500 人	

参考: 「NTN presents 2019 Tour of Japan REPORT」
(ツアー・オブ・ジャパン)



市街地のクリテリウム開催のイメージ
提供: レバンテフジ静岡



2: サイクルスポーツに関する人材の育成

ニーズ 2-1: 自転車競技を支える選手や指導者の育成、安全な練習環境の確保が求められています。

【ヒアリング調査での意見】

- ・地元から自転車競技で活躍する選手を輩出するためには、小学生から競技を行える環境が必要。
- ・ジュニアチームの創設が必要。
- ・安全に練習を行える環境を確保していくことが重要。
- ・競技の発展には、選手だけではなく、指導者の育成も必要。
- ・障害者のための自転車競技の普及を図っていくことが重要。

ニーズ 2-2: 自転車競技大会等を支えるボランティアの育成が求められています。

【ヒアリング調査での意見】

- ・大きな競技大会やイベントは、ボランティアの協力なしでは成り立たない。
- ・ボランティアが継続的に携わる体制を作ることが重要。
- ・高校生等にボランティアへ関わってもらうことによって、楽しさややりがいを伝えることができ、大人になってもボランティアへの関心を持ってもらえる。



大会に運営に携わるボランティアのイメージ

【コラム】

- スポーツ振興についての国や地方公共団体への要望として、「スポーツ指導者の養成」について、高い要望があり、この10年間で増加傾向にあります。

【スポーツ振興について国や地方公共団体への要望】



出典: 「平成26年度体力・運動能力調査」(文部科学省)



3: サイクリングコース

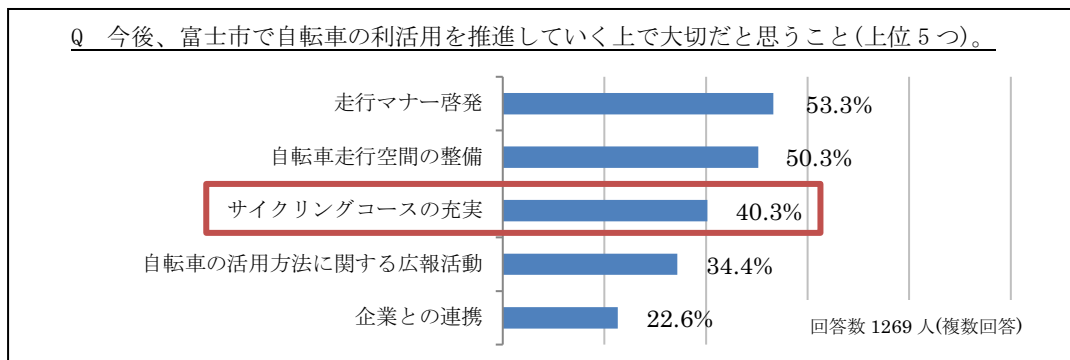
ニーズ 3-1: 地域資源を活用した魅力あるサイクリングコースの充実が求められています。

【ヒアリング調査での意見】

- ・市内には、富士山の様々な景観を楽しめる場所が多くあるため、それらを活かした本市特有のサイクリングコースを作ることによって多くの人を呼び込める。
- ・市内だけで完結するサイクリングコースも重要だが、市域を跨ぐ広域のサイクリングコースを作ることによって、サイクリングコースの魅力が高まる。
- ・サイクリストが走行する時にわかりやすい矢羽根型路面標示や統一ロゴを使用した案内看板等が必要。

【アンケート調査結果】

▼ 自転車利活用の推進で大切だと思うことについて、「サイクリングコースの充実」が40.3%となっており、ニーズが高くなっています。



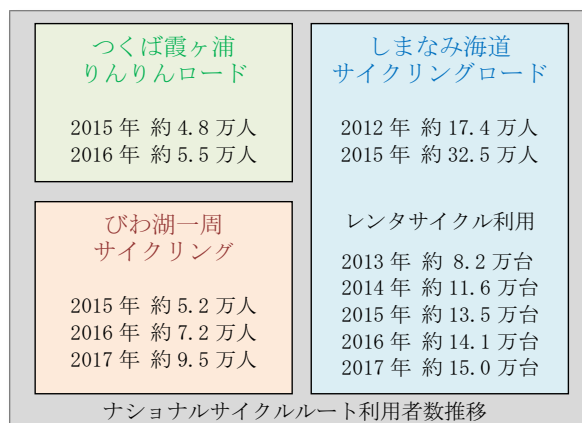
ニーズ 3-2: 市内外に向けたサイクリングの情報発信が求められています。

【ヒアリング調査での意見】

- ・魅力のあるサイクリングルートやコースを設定するだけでなく、市内外に向けた情報発信が重要。

【コラム】

○ 魅力のあるサイクリングコースを整備することにより、国内外のサイクリストが多く集まっています。



参考: 「国内におけるサイクルツーリズムの原状」(国土交通省)



4: サイクリストの受入環境

ニーズ 4-1: サイクリストに喜ばれるサービスやサイクリストが利用しやすい宿泊施設や飲食店などの充実が求められています。

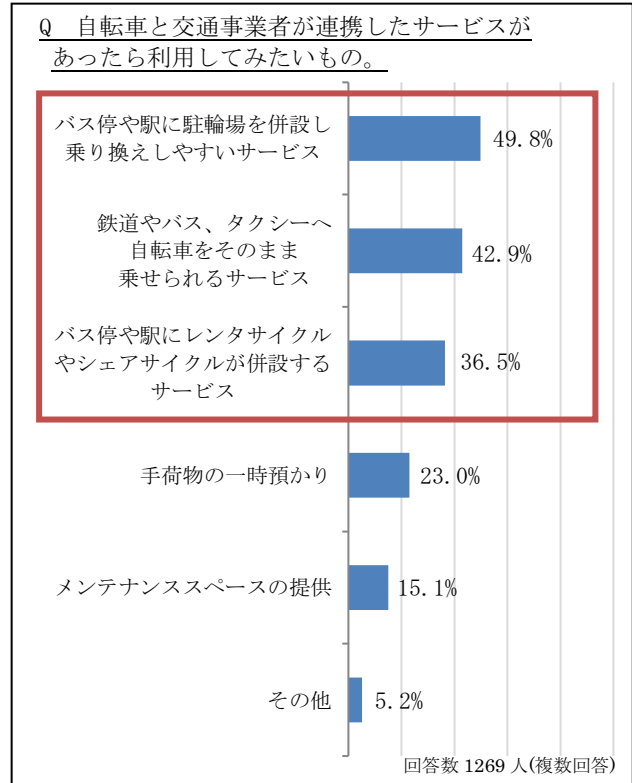
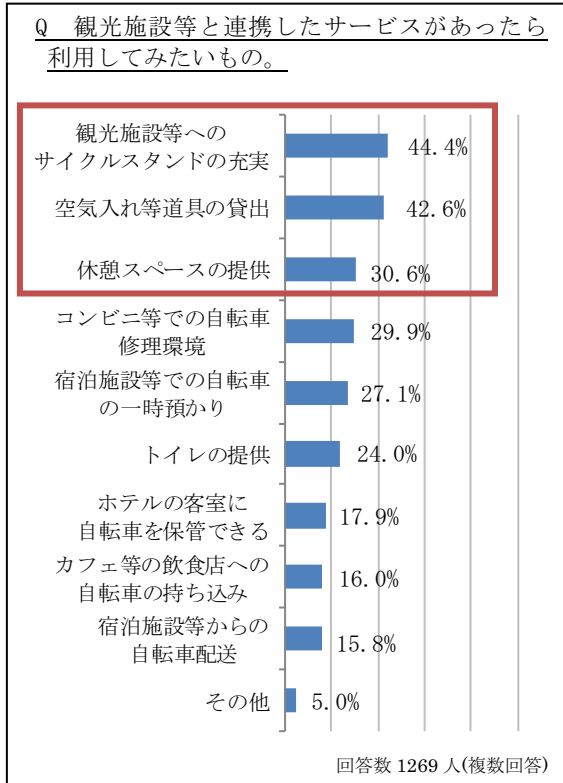
【ヒアリング調査での意見】

- ・サイクリストを呼び込むことにより、市内での消費が増加し、活性化につながる。
- ・宿泊施設や飲食店で、サイクリストに喜ばれるサービスは、自転車を室内に持ち込めるサービスや空気入れ等の自転車工具の貸出サービスがある。
- ・サイクルラックが、市内の多くの店舗にあるとサイクリストが訪れやすくなる。
- ・自転車を輪行袋に入れずに直接持ち込める鉄道やバスがある。
- ・タクシーやバスに、自転車を積むことができるキャリアの設置がある。

【アンケート調査結果】

▼ 観光施設等に求められているサービスで、ニーズが高いものは、サイクルラックの充実や空気入れ等の道具の貸出などです。

▼ 自転車と公共交通が連携したサービスでニーズが高いものは、バス停や駅に駐輪場があることや公共交通に自転車をそのまま載せられるサービスなどです。



ニーズ 4-2: 観光客が楽に市内を周遊できる電動アシスト自転車の貸出サービスなどが求められています。

【ヒアリング調査での意見】

- ・本市は坂が多く、観光客が快適に自転車を利用できるように電動アシスト自転車や E-BIKE のレンタサイクルが望まれる。
- ・レンタサイクルを借りられる場所が増えることで利用がしやすくなる。



【コラム】

○ 魅力的なサイクリングコースや宿泊施設の整備が進むと、観光客やサイクリストやレンタサイクル利用者が増加しています。

瀬戸内しまなみ海道自転車道が一大観光地として地域振興に貢献 ～愛媛県・今治市～

○瀬戸内しまなみ海道自転車道は、米CNNの世界7大サイクリングロードに選定されるなど、海外からも高い評価を受け、**外国人宿泊客が1.5倍に増加**。
 ○隣接する今治市では、サイクリストの宿泊施設の整備が進むとともに、**道の駅等にあるレンタサイクルターミナルでのレンタサイクル利用が増加**。



出典：「愛媛マルゴト自転車道」（愛媛県 観光物産課）

5： 自転車の交通ルールやマナー

ニーズ 5-1：自転車の交通ルールやマナーの周知を継続的に行うことが求められています。

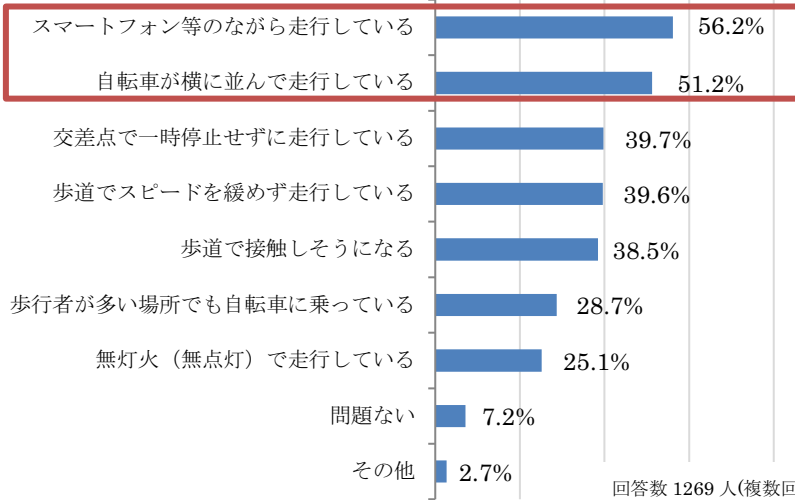
【ヒアリング調査での意見】

- ・小学生だけではなく、幅広い世代を対象とした自転車安全教室を実施した方が良い。
- ・自転車の通行ルールやマナー啓発は、継続的に実施していく必要がある。

【アンケート調査結果】

▼ 歩行者は、自転車利用者の交通ルールやマナーが守られていないと感じています。

Q 市内を歩いていて自転車利用者の走行で危険を感じたこと。





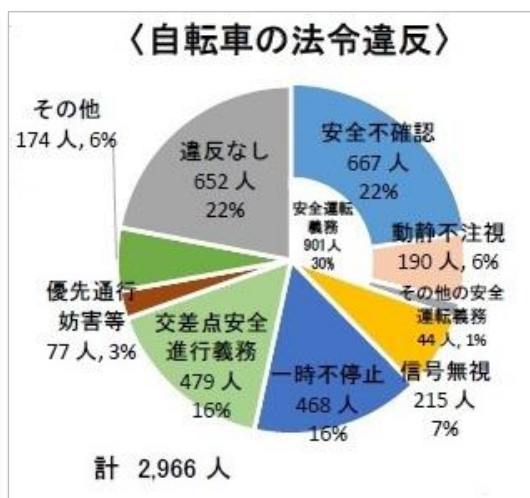
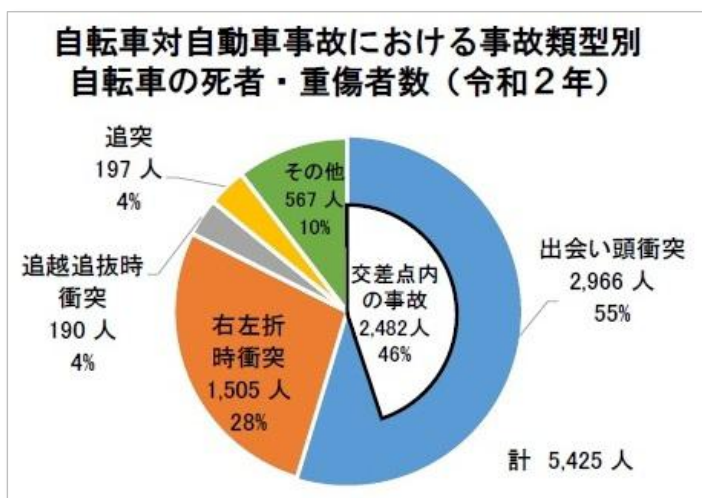
ニーズ 5-2：定期的な自転車の安全点検や損害賠償保険の加入など、安全な自転車の利用が求められています。

【ヒアリング調査での意見】

- ・自転車を安全に利用するためには、定期的に自転車を点検することが大切。
- ・自転車を購入する時は、安全基準を満たした自転車を購入することが大切。
- ・交通ルールやマナーを守るだけでなく、安心して自転車に乗ることができるように損害賠償保険への加入勧奨が重要。

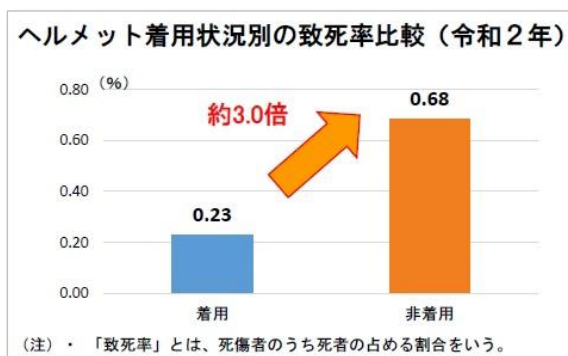
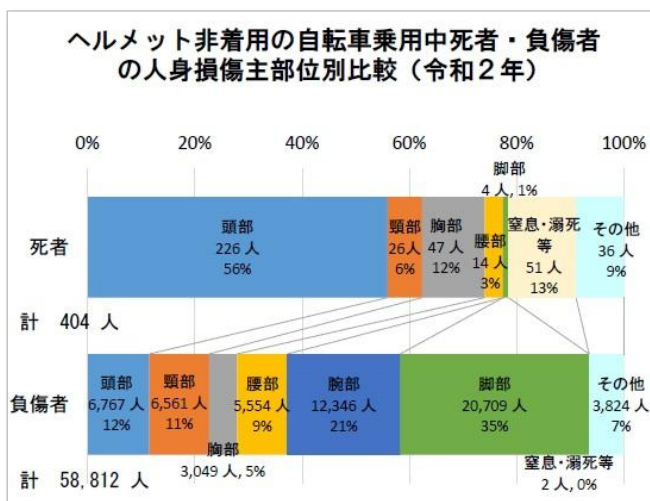
【コラム】

- 自転車運転中における自動車との出会い頭衝突事故の内、死傷した人の約78%が法令違反をしていることから、交通ルールやマナーを遵守することにより、自転車交通事故の減少が期待されます。
- また、ヘルメット非着用者の致死率が、着用者と比較して約3倍となっていることから、ヘルメットの着用率を向上させることにより、死亡者の減少が期待されます。



「自転車対自動車事故における事故種類別自転車の死者・重傷者数」の内
出会い頭衝突事故の自転車の法令違反の状況

※自転車が第1当事者又は第2当事者で死亡・重症となった人数を計上



出典：令和2年における交通事故の発生状況等について（警察庁）



6： 自転車の走行環境

ニーズ 6-1： 自転車が安全に安心して通行できる走行環境が求められています。

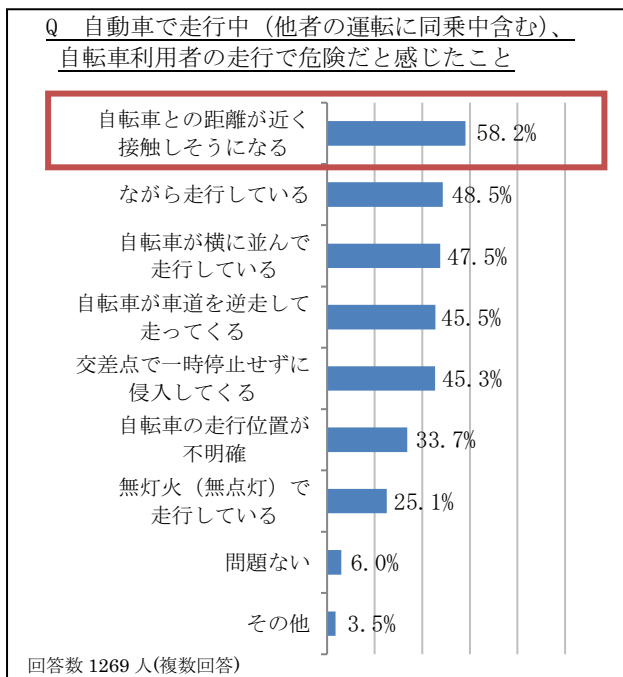
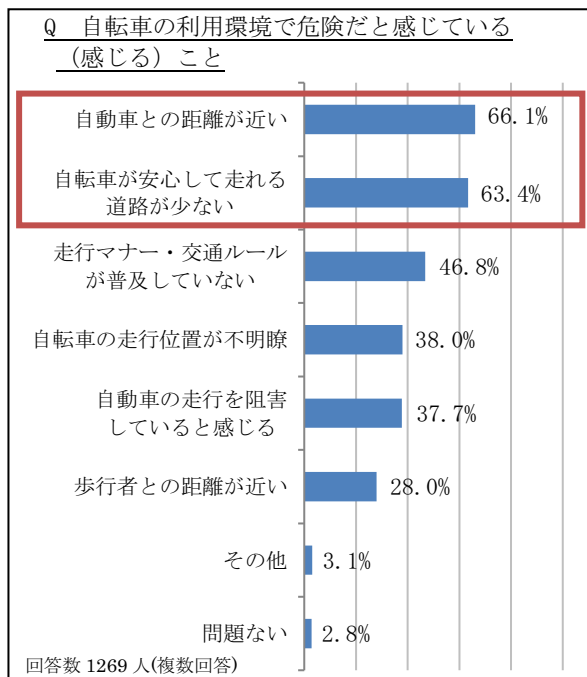
【ヒアリング調査での意見】

- ・市内の道路は、大型車の通行が多く危険なため、自転車と自動車が利用するエリアのすみ分けが必要。
- ・ドライバーが自転車の走行位置を認識できる環境を整備することで、自転車と自動車の共存の理解が深まる。

【アンケート調査結果】

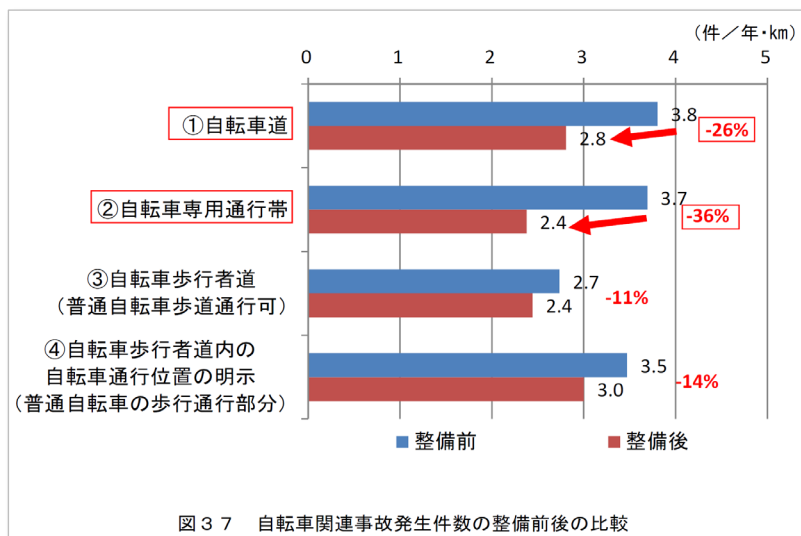
▼ 自転車利用者は、自動車との距離が近いなど、安全に走れる道路が少ないと感じています。

▼ 自動車運転者は、自転車との距離が近いことに、危険を感じています。



【コラム】

○ 自転車走行空間を整備することにより、自転車関連の事故が減少するなど一定の効果を上げています。



出典：平成26年度政策レビュー
結果（評価書）（国土交通省）



7： 駐輪環境

ニーズ 7-1：安全で快適な駐輪環境の維持や盗難防止対策の強化が求められています。

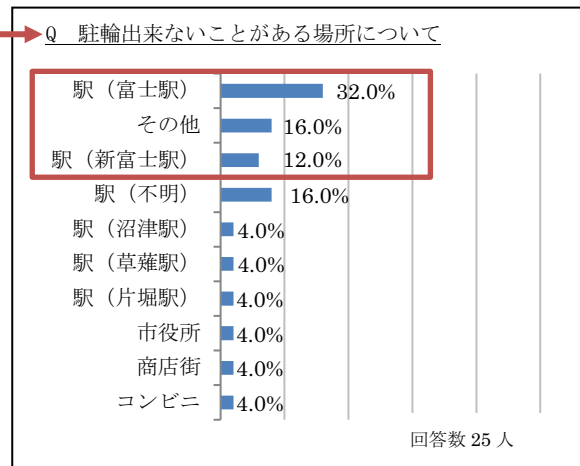
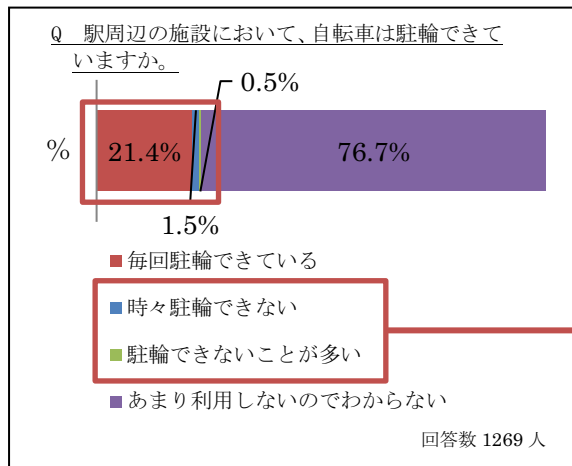
【ヒアリング調査での意見】

- ・大切な自転車を保管する、安全な駐輪環境があることが重要。
- ・駐輪場を整理することにより、駐輪台数の確保や盗難防止の効果が高くなる。

【アンケート調査結果】

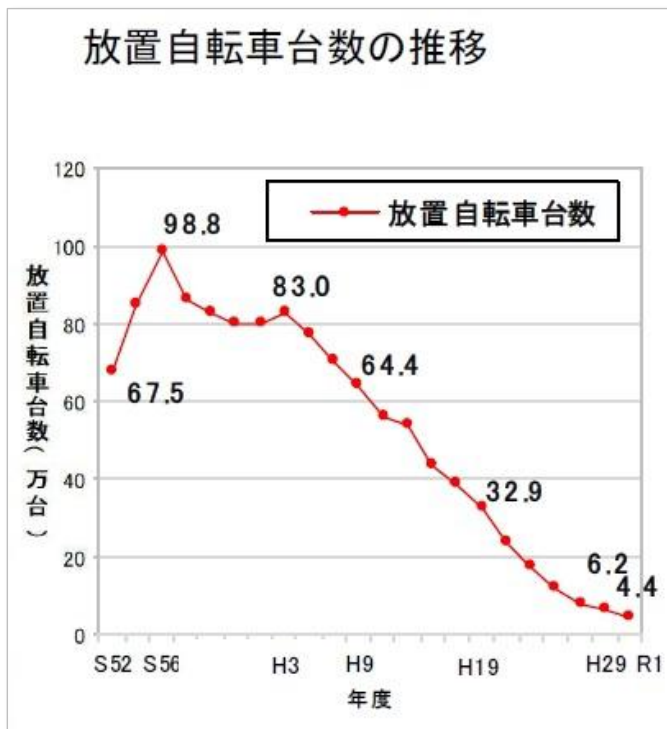
▼ 駐輪しやすい環境が整いつつあります。

▼ 富士駅や新富士駅など、一部の駐輪場で駐輪できない場合があります。



【コラム】

○ 自転車法の制定や駅周辺の駐輪場の整備により、放置自転車は昭和 56 年をピークに全国的に減少していますが、駅周辺には依然として放置自転車があります。



出典：駅周辺における放置自転車等の実態調査の集計結果（国土交通省）



8： 日常における自転車の利用

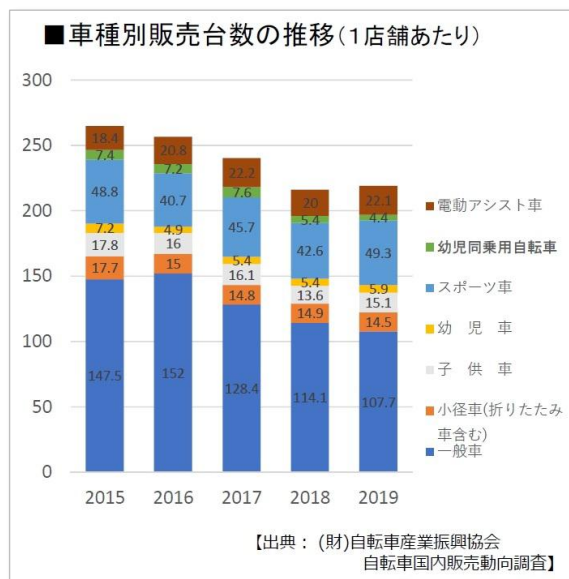
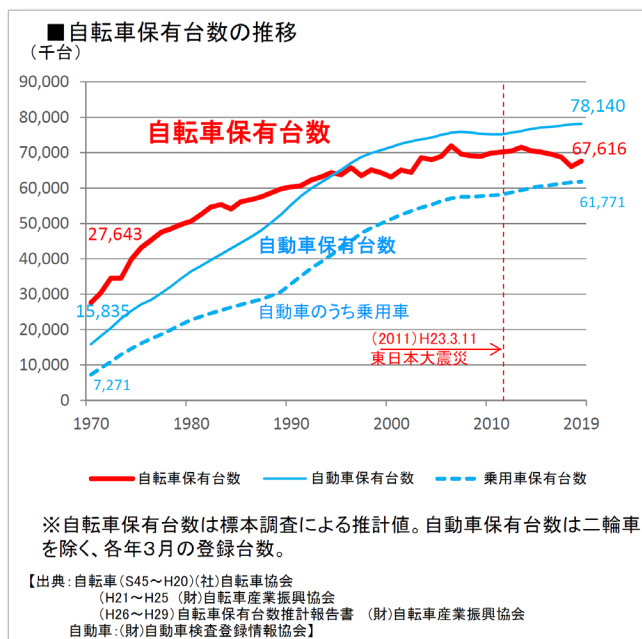
ニーズ 8-1：市民が自転車に興味を持つきっかけづくりや気軽に自転車を利用する環境を作っていくことが求められています。

【ヒアリング調査での意見】

- ・自転車の活用を推進していくためには、まず、市民の自転車への関心を高めていくことが重要。
- ・自転車競技大会等の開催やE-BIKEなどの普段乗る機会が少ない自転車の乗車体験等のイベントを開催することにより、自転車への興味を持つきっかけになる。
- ・サイクリストの受け入れ環境を整えるには、市民が自転車の魅力を知っていることが重要。
- ・市民の自転車の利用促進を図るには、日常生活において自転車の利用しやすい環境を整える必要がある。
- ・本市でもシェアサイクルを導入すれば、手軽に利用できる移動手段として、市民の利用が多くなる可能性がある。
- ・市民が、サイクリングを楽しめるコースがいくつかあると良い。
- ・「レバンテフジ静岡」のライドイベントがあれば、魅力が高いイベントになる。

【コラム】

- 近年、自転車の保有台数は増加傾向にあり、乗用車の保有台数と同じ程度になっています。また、スポーツタイプの自転車や電動アシスト自転車の販売台数が伸びています。



出典：令和2年度第1回自転車の活用推進に向けた有識者会議
資料 自転車の活用に関する現状 (国土交通省)



9：健康増進と環境負荷の低減

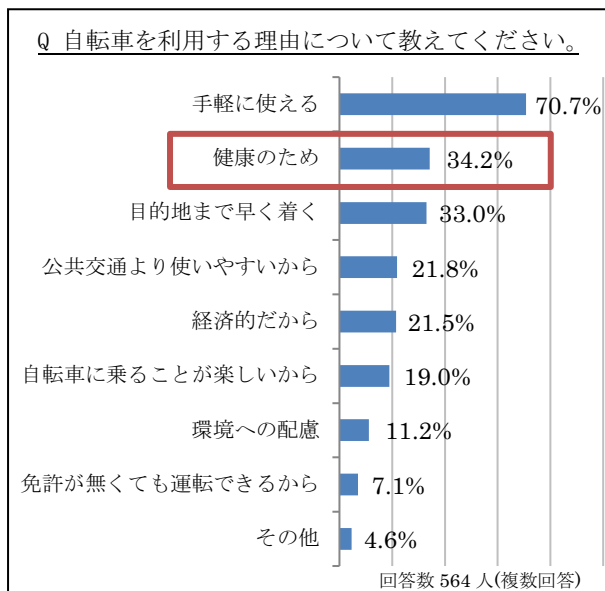
ニーズ 9-1：自転車を活用した健康づくりや環境負荷の低減のため、自転車通勤に注目が集まっています。

【ヒアリング調査での意見】

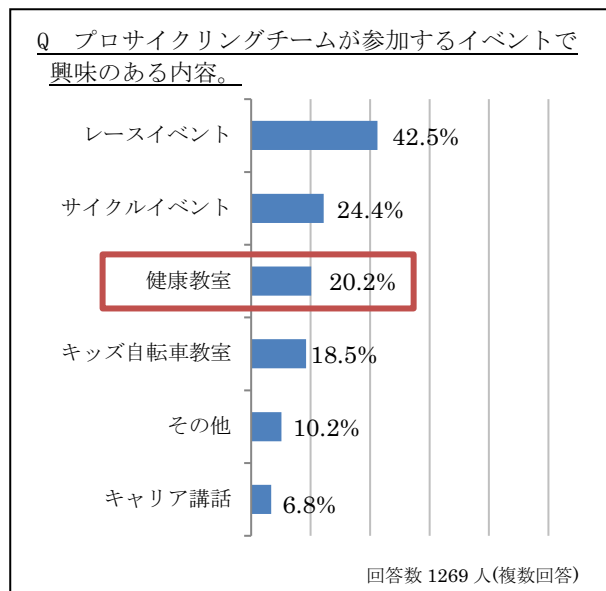
- ・自動車通勤から自転車通勤に切り替えることにより、通勤を利用して健康増進を行える。
- ・自転車通勤は、ガソリン代や駐車場代がかからないため、経済的。
- ・自転車通勤をする人が増えれば、企業にとっても健康経営や環境への配慮などの観点からイメージアップにつながり、メリットがある。
- ・環境に配慮し、過度に自動車に頼らないことも重要。

【アンケート調査結果】

▼ 自転車を利用する理由では、「手軽に使える」に次いで、「健康のため」に利用する方が多いです。

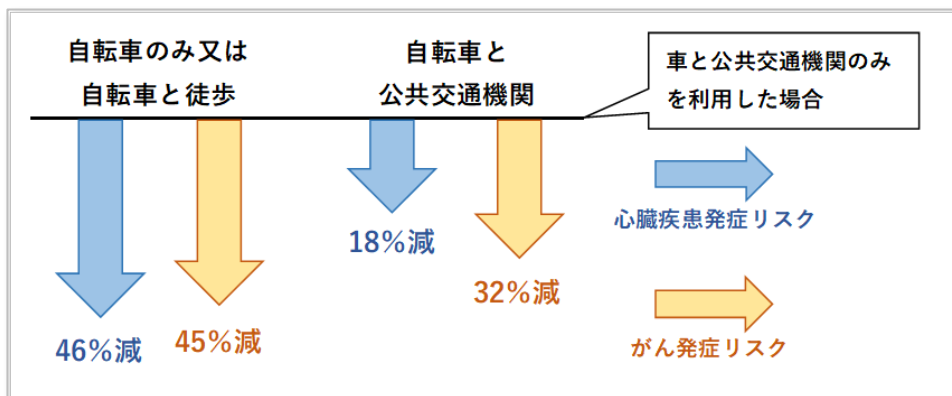


▼ 市民が、プロサイクリングチームが参加するイベントで興味があるのは、「レースイベント」、「サイクルイベント」に次いで、「健康教室」となっています。



【コラム】

○ イギリスの研究によると、自転車通勤を利用することで、心臓疾患やがんの発症リスクが減少することが明らかになっています。



車と公共交通機関のみを利用して通勤する場合と自転車を利用する場合の心臓疾患とがん発症リスク

参考：BMJ2017;357:j1466.



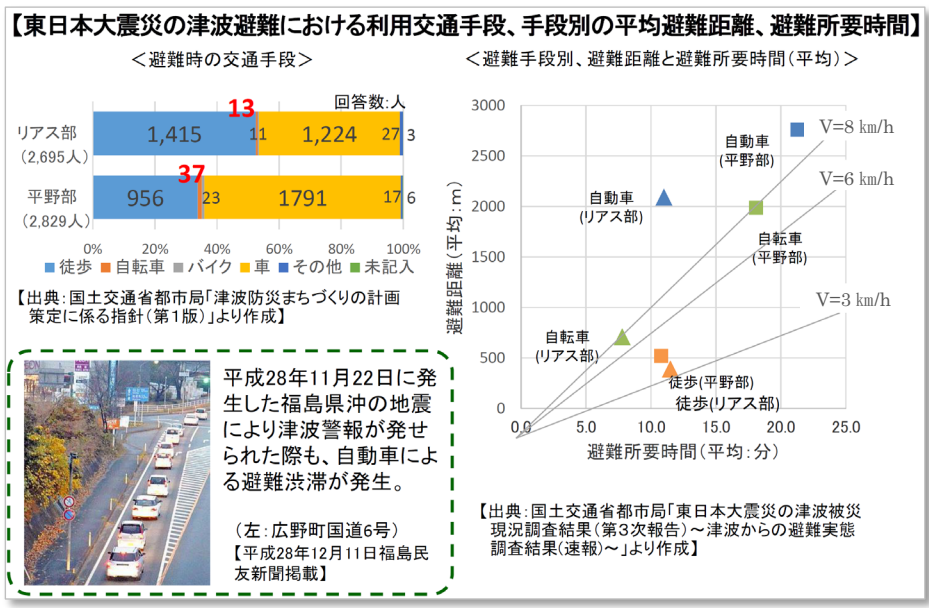
10： 自転車を活用した防災

ニーズ 10-1： 防災に自転車を活用することが求められています。

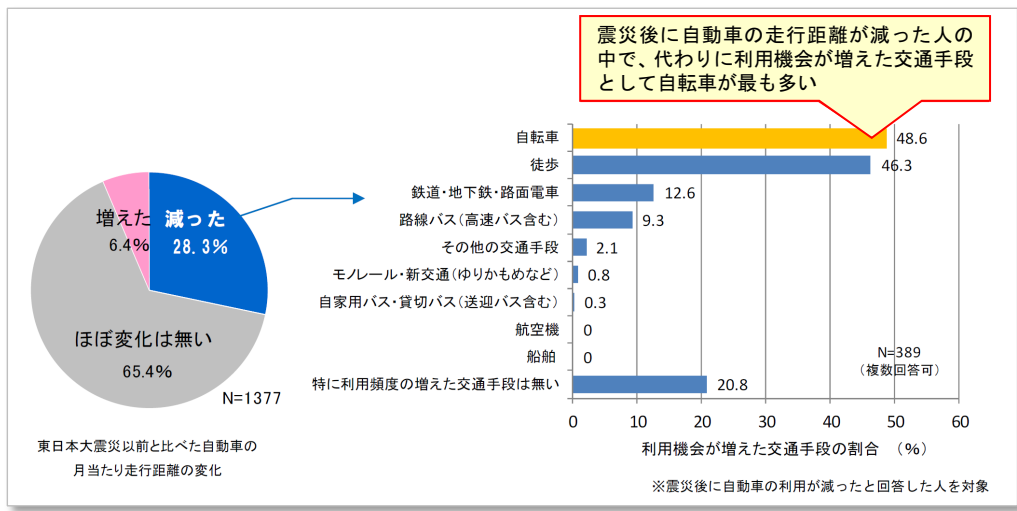
- 【ヒアリング調査での意見】
- ・ 自転車は、災害時の被害状況の把握などに有効な手段となる。
 - ・ 平坦な場所では、自転車による避難を検討することも大切。

【コラム】

○ 災害発生直後に自動車の渋滞が懸念される中、自転車による避難で、いち早く避難が完了している事例があります。また、東日本大震災後に利用が増えた交通手段では、自転車が最も多い結果になっています。



出典：自転車の活用の推進に関する現状の取組みについて（国土交通省）



東日本大震災後に利用機会が増えた交通手段

出典：大震災による行動の変化に関する地域別アンケート調査（1回目）（日本モビリティ・マネジメント会議）



2. 本市の自転車に関する現状

ウェブアンケート調査やヒアリング調査から得られた 10 項目のニーズに対し、本市の自転車に関する現状を調査し、整理しました。

1: 自転車競技

現状 1-1: プロサイクリングチームの活動拠点がありません。

地域密着型のプロサイクリングチーム「レバンテフジ静岡」が、本市に拠点事務所を設置し、活動しています。また、「レバンテフジ静岡」は、本市と「サイクルスポーツを通じた地域づくり」の連携協定（令和 2 年 8 月）を締結し、地域に密着した様々な活動が展開されることが期待されています。

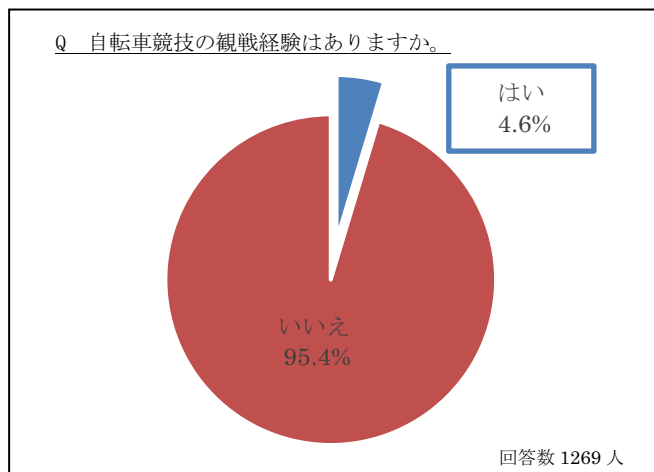


地域イベントに参加するレバンテフジ静岡

提供：レバンテフジ静岡

現状 1-2: 市民は、自転車競技大会の観戦経験がほとんどありません。

県内では、自転車競技大会の開催はありますが、市内では自転車競技大会の開催実績はありません。また、アンケート調査では、自転車競技を観戦したことがあると回答した人は、4.6%と少ない状況です。



「ウェブアンケート調査」
結果より



2: サイクルスポーツに関する人材の育成

現状 2-1: 本市出身の自転車競技選手や自転車競技の指導者が少ないです。

本市は、競輪競技の認知度は高いですが、その他の自転車競技の認知度が低い状況です。また、自転車競技のクラブやジュニアチームがないため、自転車競技に触れる機会が少なく、自転車競技選手が少ない状況です。また、自転車競技の指導者も少ない状況です。



競輪の渡邊選手（左）と鈴木選手（右）

資料: 広報ふじ（シティプロモーション課）

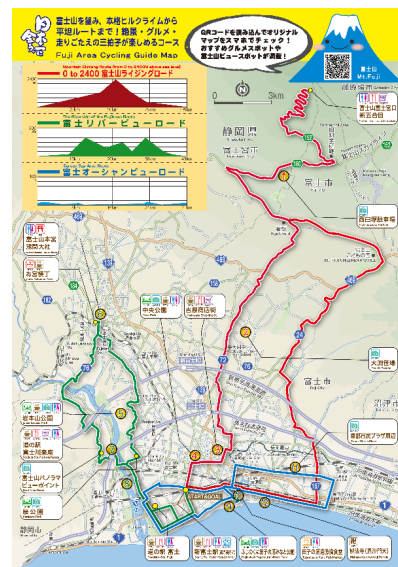
3: サイクリングコース

現状 3-1: 大規模なサイクリングコースからつながる市内のルートが整備されていません。

インバウンド需要が期待される、駿河湾沿いに設定されたナショナルサイクルルートの「太平洋岸自転車道」や富士山を周遊する県モデルルートの「富士山一周サイクリングルート」はありますが、両方のコースからつながる市内のサイクリングルートの整備がされていないため、サイクリストを引き込む仕組みが整っていません。



出典: 静岡県自転車活用推進計画

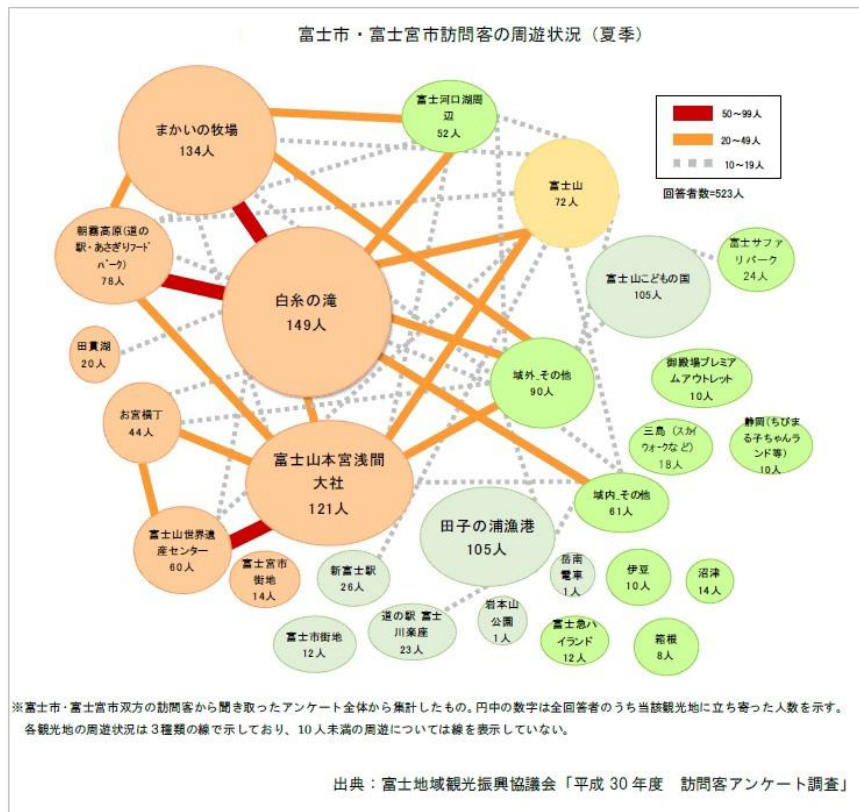


出典: 富士エリアサイクリングガイドMAP ((一社)富士山観光交流ビューロー)



現状 3-2：地域の観光資源をつなぐ仕組みが不足しています。

世界文化遺産に登録された富士山や駿河湾など魅力的な景観や観光資源等を有していますが、十分に活かされておらず、観光客の通過地域となっています。観光資源をつなぐ仕組み（サイクリングルートやコース）も不足しているため、訪問客の周遊があまり見られません。



現状 3-3：魅力的なロケーションや地域特有の特産品が多数あります。

本市は、富士山、岩本山公園、富士川、大淵笹場、須津川溪谷、田子の浦漁港、駿河湾、工場夜景など、魅力的な景観を多く有しています。

また、田子の浦しらす、キウイ、ブルーベリー、イチジク、緑茶やほうじ茶、富士つけナポリタン、富士山ひらら等の地域特有の特産品も多く有しています。



田子の浦港からの富士山と工場夜景

提供：宮崎泰一氏



大淵笹場



田子の浦しらす



4: サイクリストの受入環境

現状 4-1: 交通インフラ（東名、新東名、新幹線）が整っており、東西都市圏からのアクセスが良好な地域です。

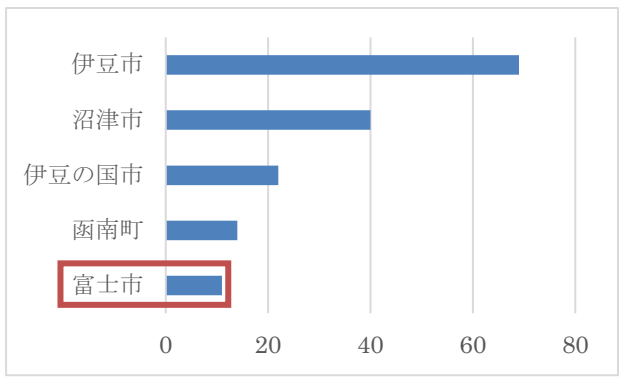
本市は、東海道新幹線の駅である新富士駅や新東名高速道路の新富士IC（インターチェンジ）、東名高速道路の富士ICなどの交通インフラが整っており、東西都市圏からのアクセスが良好な地域です。また、外国人観光者に人気のあるゴールデンルート上にあることも強みです。



現状 4-2: サイクリストに良好なサービスを提供する観光施設が十分に整っていません。

ホテルの新設が進み、地域全体の宿泊可能客室数は増えていますが、自転車を室内に持ち込めるなどのサイクリストが宿泊しやすいサービスのあるホテルや旅館が十分にありません。また、サイクルスタンド（サイクルラック）の設置やバイクピットの機能を有する飲食店も十分でない状況です。

自転車を持たない人が、自転車を利用して市内を周遊するレンタサイクルのサービスも新富士駅などの限られた場所にしかありません。



静岡県東部・伊豆エリアバイクピットの設置数
参考: 静岡県観光公式ウェブサイトハローナビ静岡



電動アシスト自転車
新富士駅観光案内所 富士山レンタサイクル
提供: (一社) 富士山観光交流ビューロー



5： 自転車の交通ルールやマナー

現状 5-1： 自転車安全教室を定期的を実施しています。

本市では、学校の協力により、小学1年生、小学4年生、中学1年生を対象とした交通安全教室を各学校で実施しています。特に小学4年生の交通安全教室では、自転車の実技指導や交通ルールの講話等を中心に行い、自転車交通ルールの周知を図っています。

また、高等学校では、TSマーク貼付の推進など、安全に自転車を利用できるように定期的な点検整備の体制を整えており、安全対策に継続的に取り組んでいます。



自転車交通安全教室の様子

TS マーク
自転車安全整備士が点検整備し、安全・安心な普通自転車であることを確認して貼付するマーク。傷害保険及び賠償責任保険が附帯されている。 ※TS …Traffic Safety



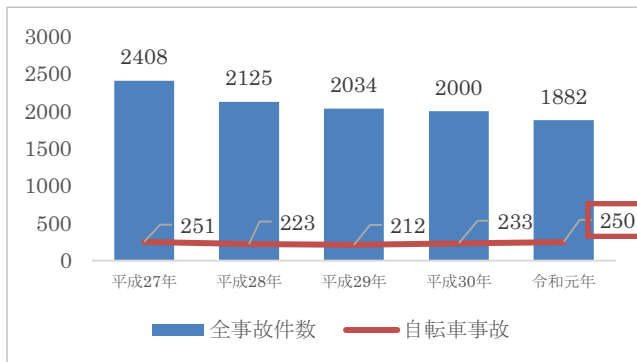
TS マーク

出典：（公財）日本交通管理技術協会ウェブサイト
(<https://www.tmt.or.jp/>)

現状 5-2： 交通事故に占める自転車事故の割合は増加傾向にあります。

交通事故は全体的に減少傾向ですが、自転車事故の割合は増加傾向です。自転車事故の類型別では、自転車と自動車など車両相互の事故が多くなっています。

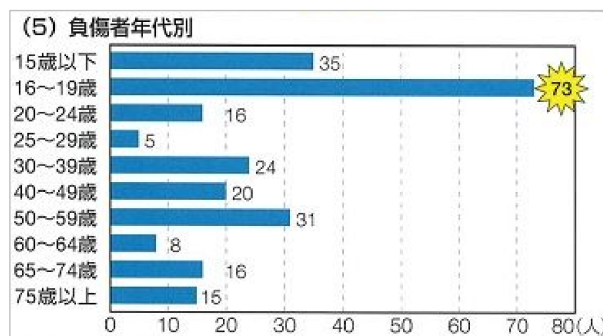
また、年代別自転車事故負傷者件数は、高校生が最も多くなっています。



年代別事故件数

種類	区分	件数	前年比	死者	前年比	負傷者	前年比
人対車	計	250	17	2	±0	243	19
	対背面通行中		-4				
	横断	横断歩道	1			1	1
車対車	断	その他	-1				
	面	その他	5	5		1	1
車両相互	正面衝突	4	-3			3	-4
	追突		-1				-1
	出会い頭	132	13			132	14
	追越等	8	2			8	2
	右左折	84	11	1		83	11
車両単独	その他	9	-8			9	-8
	計	7	3	1		6	3

事故分類別



年代別自転車事故負傷者件数

出典：令和2年交通のあらまし（静岡県警察 富士警察署）

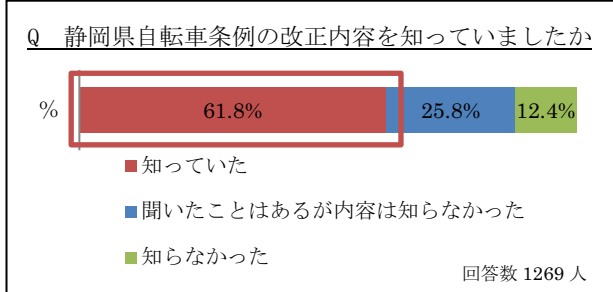
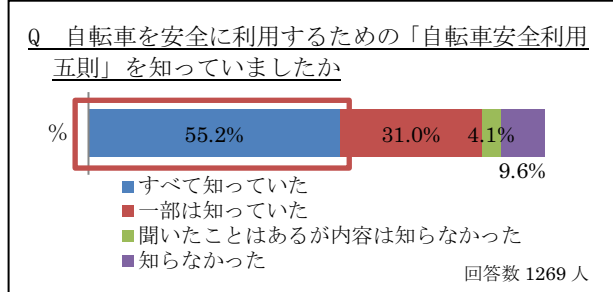
※「年代別事故件数」は「令和2年交通のあらまし」より作成



現状 5-3：法令違反による自転車事故が多く見られます。

自転車の基本的なルールである自転車安全利用五則や静岡県自転車条例の改正による保険加入の義務化などは、一定の方々に認知されていますが、一方で認知していない方々も多く存在しています。

自転車事故の違反別の割合では、交差点での安全確認不足などの安全運転義務違反が多くみられます。



「ウェブアンケート調査」結果より

(7) 違反別（自転車の原因）

違反	区分	当事者数
計		254
信号無視		3
通行区分	右側	8
	歩道等	2
交差点右折		1
優先通行		1
交差点安全運転義務		24
横断歩行者妨害等		1
徐行場所		2
一時停止		16
自転車通行方法		1
安全運転義務	ハンドル・ブレーキ操作	4
	脇見運転	6
	動静注視	39
	安全確認	63
違反なし等		83

自転車全体の違反別当事者数

(6) 違反別（高校生の原因）

違反	区分	当事者数
計		109
信号無視		2
通行区分	右側	2
	歩道	1
交差点安全運転義務		7
横断歩行者		1
一時停止		4
ブレーキ操作		1
脇見運転		3
動静注視		15
安全確認		20
違反なし等		22
自動車二輪車	交差点安全運転義務	1
歩行者	違反なし等	27
歩行者	違反なし等	3

高校生の違反別当事者数

出典：令和2年交通のあらまし（静岡県警察 富士警察署）

6：自転車の走行環境

現状 6-1：一部の区間では自転車走行空間の整備がされていますが、十分ではありません。

本市では、「富士市自転車利用総合計画(H23)」の施策により、県道鷹岡富士停車場線や臨港富士線の自転車走行空間の整備がされましたが、その他の道路では整備が進められていません。



県道鷹岡富士停車場線(富士駅付近)



臨港富士線(富士市役所付近)

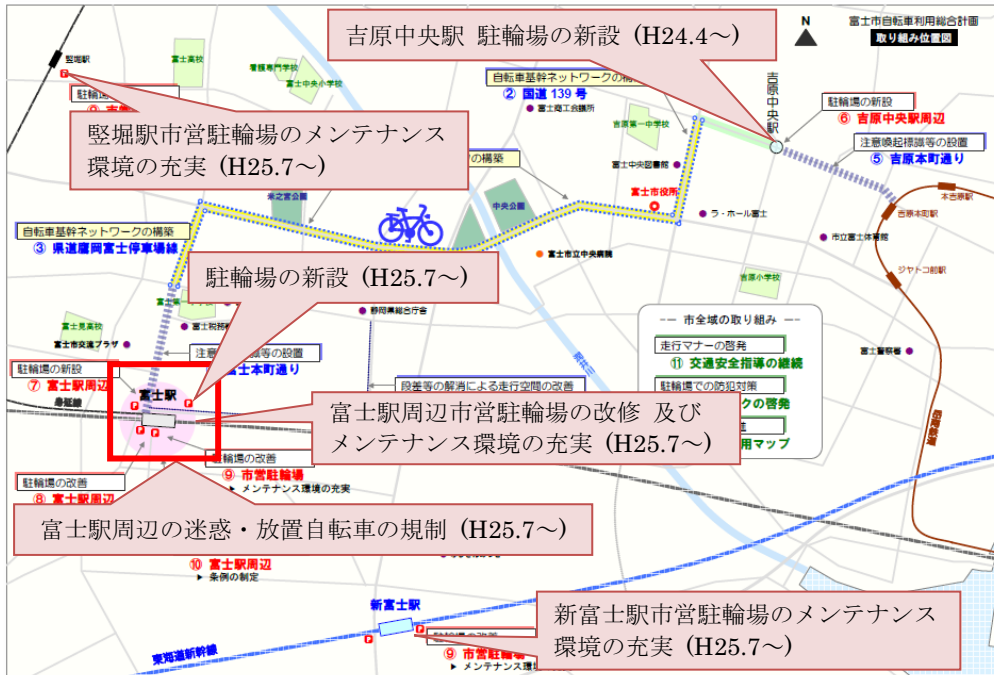


7： 駐輪環境

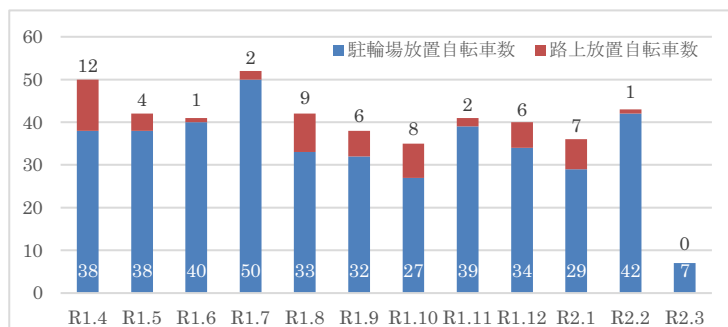
現状 7-1：一部の区域では駐輪環境が改善されています。

駐輪場の改修や新規駐輪場の整備、放置自転車への規制強化等により、富士駅周辺などの一部の区域では、駐輪環境が改善されています。

刑法犯認知件数は減少傾向にあります。自転車盗被害は、毎年一定数の認知があります。



富士市自転車利用総合計画 取り組み位置図



令和元年度の放置自転車台数

年	空き巣・忍込み (件)	自転車盗 (件)	万引き (件)	自動車盗 (件)	車上ねらい (件)	部品ねらい (件)	オートバイ盗 (件)
平成30	73	159	171	15	116	58	51
令和元	51	181	164	18	143	22	21
令和2	46	90	159	13	96	26	12

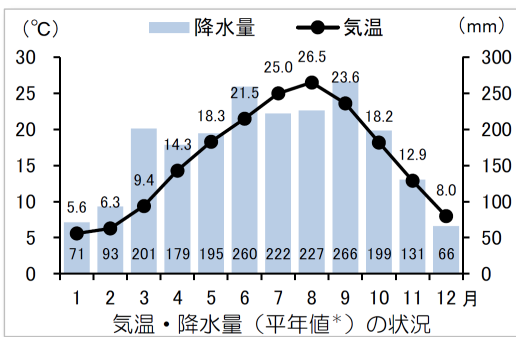
参考：「身近な犯罪発生状況～令和2年版 犯罪白書」（富士防犯協会・富士警察署）



8： 日常における自転車の利用

現状 8-1：本市は自転車利用に適した気候と言えます。

本市は、一年中温暖な気候のため、快適に過ごすことができます。冬は晴天日が多く、市街地では雪が降ることはほとんどないため、自転車利用に適した気候と言えます。

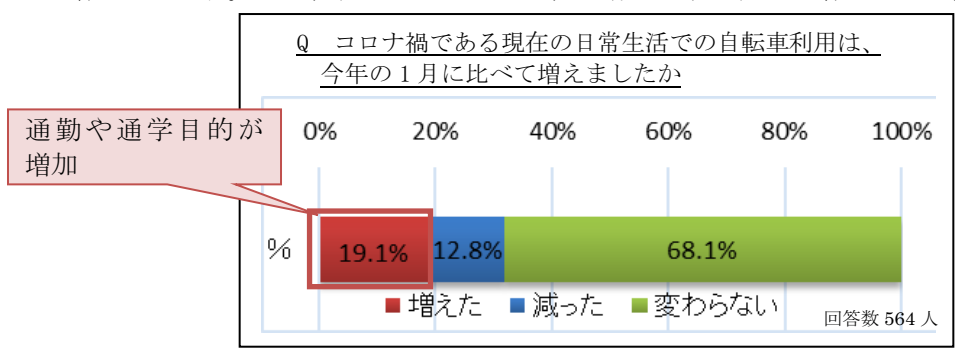


本市域の大半は、海の影響を受けて温暖湿潤な海洋性気候

参考：気象庁ウェブサイト

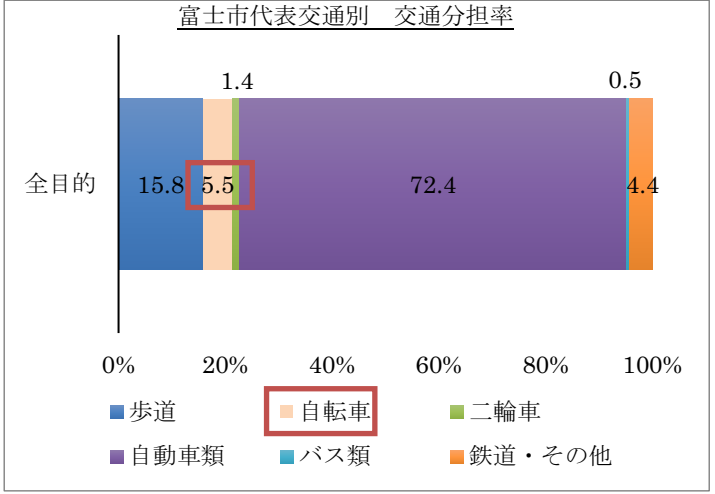
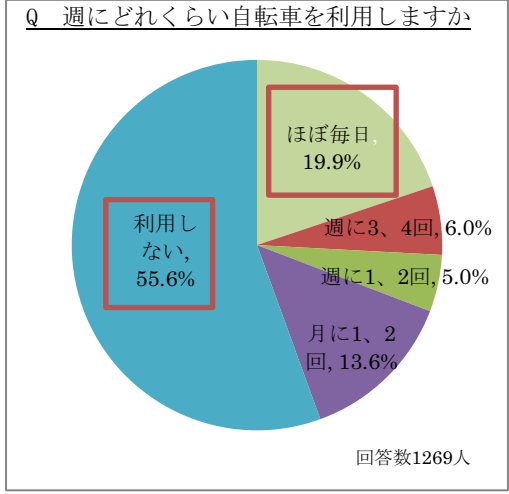
現状 8-2：新型コロナウイルス感染症の影響により自転車の利用頻度が増加しています。

ウェブアンケート調査の結果では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大前に比べ、約20%の人の自転車利用が増えています。また、利用の目的別では、通勤や通学の利用が増えている状況です。



現状 8-3：習慣的に自転車を利用していない人が多い状況です。

習慣的にほぼ毎日自転車を利用している市民は、約20%と少なく、自転車を利用しない市民は、約56%と多くなっています。また、「第2回岳南都市圏パーソントリップ調査」による富士市代表交通別分担率では、約72%と自動車類が最も多く、自転車は約5.5%に留まっています。



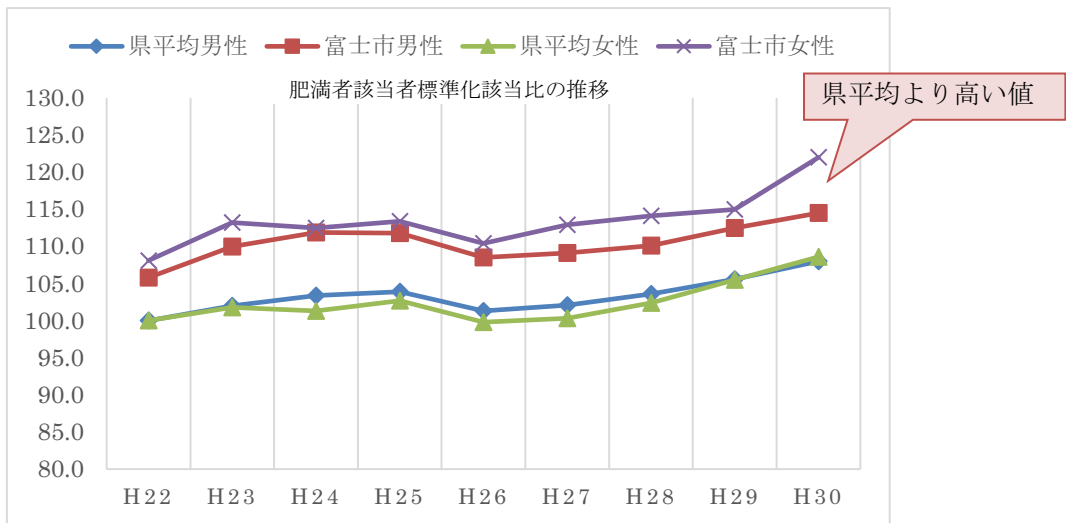
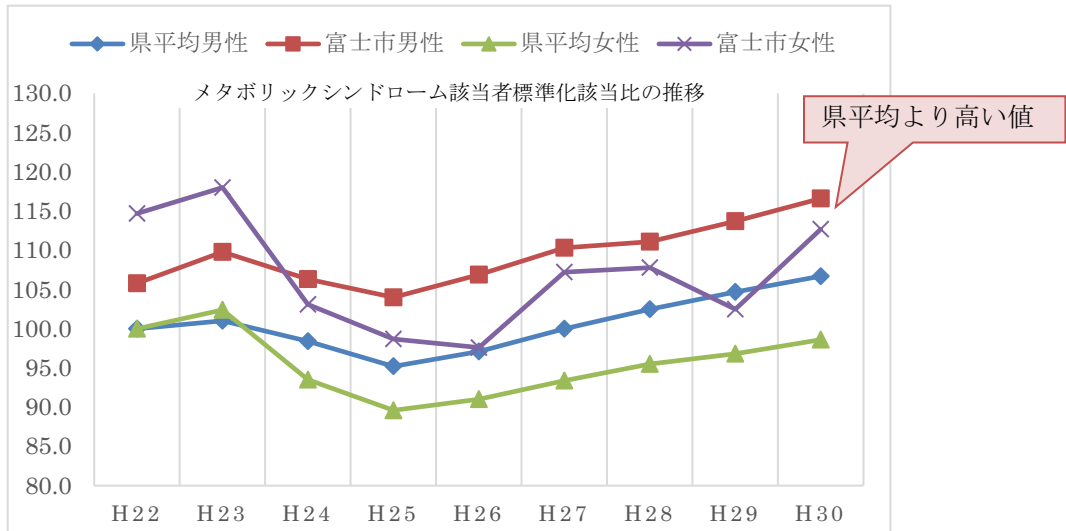


9：健康増進と環境負荷の低減

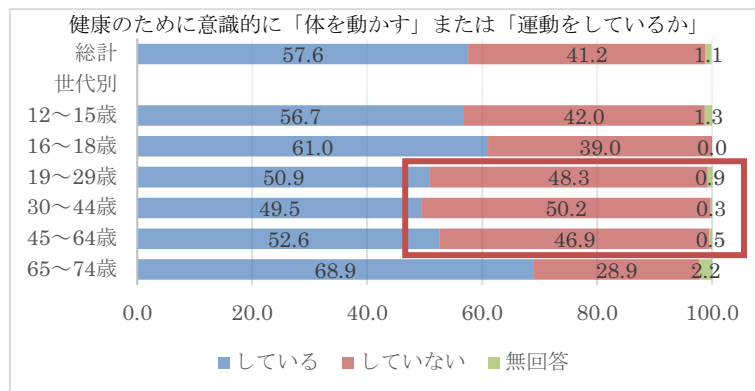
現状 9-1：肥満者等の割合が県平均より高い傾向にあります。

本市のメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）該当者及び肥満者の人の割合は、男女ともに県平均より高い値となっています。

また、健康のために運動をしていたり、意識的に体を動かしていたりしている市民の割合では、男女ともに19歳から64歳までの割合が低い状況です。



参考：「静岡県平成30年度特定健診・特定保健指導に係る報告書(70万人データ)」
 ※標準化当該比は、H22 静岡県全体の結果を基準(100%)とし、当該年度富士市の結果を比較した値



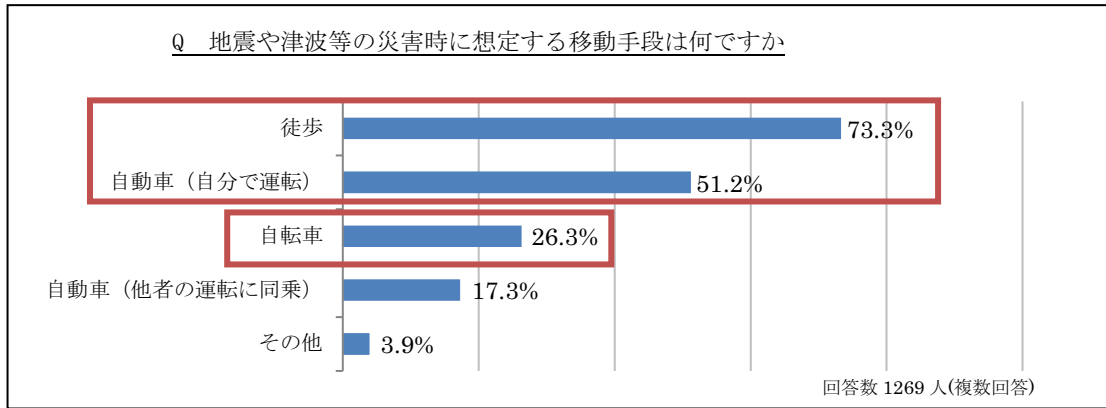
参考：
 令和元年度富士市市民健康意識調査



10： 自転車を活用した防災

現状 10-1： 災害時には徒歩や自動車を想定した移動手段が多くなっています。

本市では、徒歩による避難を推進しているため、徒歩で避難する人が多い状況です。



「ウェブアンケート調査」結果より